

■問い合わせ先 保健センター TEL 46-5571
e-mail:hoken@town.hiraizumi.iwate.jp

23年度 町生涯学習町民のつどい

町民一人ひとりが、ゆとりを持って、学習、文化活動に取り組み活気あふれるまちづくりを目指し「町生涯学習町民のつどい」を開催します。NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長の生重幸恵さんによる講演や生涯学習の取り組み事例なども紹介されます。

皆さん、ぜひご参加ください。

日時…2月19日(日) 13:30~(受け付け13:00~)

場所…平泉文化遺産センター



講師を務める生重さん

内容

- ◎表彰 (13:30~14:00)
 - ▷町教育委員会表彰
 - ▷ふるさとオリンピア2011表彰
- ◎生涯学習の取り組みについて (14:00~14:10)
- ◎講演 (14:20~15:50)

演題「学校・家庭・地域の連携協力により
もたらされるもの」
講師 生重 幸恵さん
(NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長)

※講演のみの聴講も可能です。その場合は、14時15分までにご入場ください。

入場料…無料

問い合わせ先…町教育委員会 ☎46-5576

皆さんでいっしょにおもちゃ遊び



みんなでいっしょにおもちゃ遊び

☆なかよしサロン☆

1月13日の「のびのび広場」

は、4組子ども5人の参加の下、
長島公民館で開催しました。

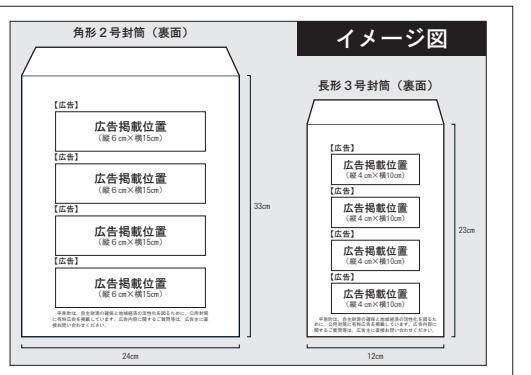


問い合わせ先

子育て支援センター(平泉
保育所内) ☎46-12767

公用封筒の広告を募集します

- ◎封筒の種類・作成枚数…▷角2形封筒=10,000枚
▷長3形封筒=25,000枚
- ◎募集広告枠数・掲載料…4枠(1枠当たり税込み47,000円)
- ◎広告1枠当たりの大きさ…▷角形2号封筒=縦6センチ×横15センチ
▷長形3号封筒=縦4センチ×横10センチ
- ◎募集期間…2月1日(水)~2月20日(月)
- ※詳しい内容については町ホームページをご覧ください。
- ◎申し込み・問い合わせ先…総務企画課 ☎46-5578



多くのカップルが悩んでいる
男女が出会い、愛し合い、一緒にになった2人が、赤ちゃんを望むのはとても自然なことです。しかし、一緒になると必ず子どもができると思われがちですが、妊娠するということは、本人たちの意思だけはどうにもできないものです。

日本では妊娠を望む人のうち、その1割が不妊に悩んでいます。不妊は決して珍しいことではないのです。

不妊とは?

医学的な不妊とは、自然な性生活を送っている男女が、2年間たつても妊娠しない状態をいいます。赤ちゃんができる割合は、通常結婚1年以内で7~8割、2年内で8~9割といわれています。2年たつても妊娠しなければ、受診することもひとつ的方法です。女性の年齢が高くなるほど、卵子の状態は衰えていきます。不妊治療は長いこともあります。年齢も加味

不妊症の治療

一般的に不妊症治療はその原因別に行われます。原因がいくつかある場合は、治療方法を組み合わせて治療します。治療にはさまざまな種類がありますが、大きく「一般治療」と「高度治療」に分かれます。一般治療は、排卵日を予測してタイミングを計ります。

不妊で受診する場合は、初めて2人一緒に受診し検査を受けましょう。

不妊症の治療

一般的に不妊症治療はその原因別に行われます。原因がいくつかある場合は、治療方法を組み合わせて治療します。治療にはさまざまな種類がありますが、大きく「一般治療」と「高度治療」に分かれます。一般治療は、排卵日を予測してタイミングを計ります。

不妊に対する悩みはなかなか表に出しにくいものです。不妊に悩むカップルが増える中、専門的な相談機関もあります。

不妊に対する悩みはなかなか表に出しにくいものです。不妊に悩むカップルが増える中、専門的な相談機関もあります。

不妊専門相談センター

不妊についての身体や心の悩みについてのお問い合わせは、保健センター ☎46-15571 (県が岩手医科大学付属病院に委託している事業です)

開設場所: 岩手医科大学付属病院 ☎019-651-5111

※予約制です。

△町特定不妊治療費助成事業についてのお問い合わせは、保健センター ☎46-15571 (県の不妊に悩む方への特定治療支援事業費助成金についてのお問い合わせは、一関保健所 ☎26-1415)

「特定不妊治療費の助成事業を実施しています」

して受診時期を検討するのがよいでしょう。

ングを計るタイミング法や食事療法による生活改善、飲み薬や注射、カウンセリングなどがあります。一般治療で妊娠できない場合、高度治療を行います。

高度治療には、体外受精や顕微授精などがあります。治療の費用は、治療内容や薬の処方量、各病院によって幅があります。

スので上手に利用し、早めに相談しましょう。

△不妊専門相談センター

不妊についての身体や心の悩みについてのお問い合わせは、保健センター ☎46-15571 (県が岩手医科大学付属病院に委託している事業です)

「こころの健康」についての相談窓口が保健センターにあります。

「眠れない」「何なくこころが晴れない」など悩み事がありましたら保健センターにご相談ください。